

令和2年(2020年)2月1日

発行 斑鳩町議会
斑鳩町法隆寺西3丁目7番12号
電話 0745-74-1001
FAX 0745-74-1011
Eメール: gikai@town.ikaruga.nara.jp
発行人 議会議長 坂口 徹
編集 広報発行常任委員会

いかるが



▲消防団員による分列行進



▲消防車両の行進



▲竜田川河川敷での一斉放水

12月 定例会



- こんなことが決まりました…………… ②ページ
- 9人の議員が一般質問を行いました…………… ③ページ
- 委員会のうごき…………… ⑩ページ
- 本会議での討論…………… ⑬ページ
- 住民懇談会を開催しました…………… ⑭ページ

こんなことが決まりました

第6回 定例会

令和元年 12月2日～12月18日

令和元年第6回定例会では、それぞれの議案を委員会に付託し、詳しく審査しています。

議案の内容などについては、各委員会の記事をごらんください。

建水：建設水道常任委員会	10ページ
厚生：厚生常任委員会	11ページ
総務：総務常任委員会	12ページ

	定例会の案件	付託先	結果
条例	斑鳩町議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について		賛成多数で可決
	西和地域病児保育室設置条例について	厚生	満場一致で可決
	督促手数料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について	総務	
	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
	斑鳩町の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
	斑鳩町保育の実施に関する条例の一部を改正する条例について	厚生	
	斑鳩町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	建水	
	斑鳩町印鑑条例の一部を改正する条例について	厚生	
予算	令和元年度斑鳩町一般会計補正予算(第6号)について	総務	
	令和元年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	厚生	
	令和元年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	厚生	
	令和元年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	厚生	
	令和元年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第2号)について	建水	
	令和元年度斑鳩町下水道事業会計補正予算(第2号)について	建水	
人事	斑鳩町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めることについて		満場一致で同意
陳情	長田町町営住宅駐車場の道路への用途変更要望について	建水	満場一致で不採択

13ページに賛否の討論

よしおかよしみつ
吉岡祥充氏を選任することに同意

「西和地域病児保育室」が開所

西和医療センター敷地内に、西和地域病児保育室「いちごルーム」が開所しました。利用開始に先立ち、1月9日（木）に開所式及び内覧会が実施されました。



▲いちごルームの室内



▲西和地域病児保育室「いちごルーム」の外観

一般質問 Q &A

一般質問とは、議員が町の行政全般について質問し、是正を求めたり、新たな施策の提案を行ったりするものです。

本定例会での一般質問は、12月5日・6日の両日、9人の議員が行いました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

※紙面の都合により、◎の質問のみ掲載しています。

齋藤文夫議員・3ページ

◎豪雨災害から命を守る体制について

○ゼロ・ウェイストの促進について

奥村容子議員・4ページ

◎小・中学生の通学カバンが重いことについて

○幼児教育・保育の無償化に伴う保護者の声について

○災害時の住民避難の体制づくりについて

溝部真紀子議員・5ページ

◎子どもたちが健やかに育つ幼稚園づくりについて

◎民生委員が活動しやすい環境整備について

○斑鳩町役場及び関係団体においてパワーハラスメント、セクシャルハラスメントを未然に防ぐ取り組みについて

○斑鳩町役場及び関係団体においてパワーハラスメント、セクシャルハラスメントを未然に防ぐ取り組みについて

○斑鳩町役場及び関係団体においてパワーハラスメント、セクシャルハラスメントを未然に防ぐ取り組みについて

○斑鳩町役場及び関係団体においてパワーハラスメント、セクシャルハラスメントを未然に防ぐ取り組みについて

○斑鳩町役場及び関係団体においてパワーハラスメント、セクシャルハラスメントを未然に防ぐ取り組みについて

○斑鳩町役場及び関係団体においてパワーハラスメント、セクシャルハラスメントを未然に防ぐ取り組みについて

○斑鳩町役場及び関係団体においてパワーハラスメント、セクシャルハラスメントを未然に防ぐ取り組みについて

木澤正男議員・7ページ

◎避難所の運営について

○幼稚園・保育園の運営について

○子どもの遊び場確保について

○自衛隊からの個人情報提出依頼への町の対応について

◎2021年の聖徳太子御遠忌について

◎子どもの医療費、窓口負担について

小城世督議員・8ページ

◎子どもの医療費、窓口負担について

○ゼロ・ウェイストについて

○里道について

○竜田公園の整備について

○竜田公園の整備について

○竜田公園の整備について

○竜田公園の整備について

○竜田公園の整備について

○竜田公園の整備について

豪雨災害から命を守る

体制づくりについて



齋藤 文夫 議員

議員 大和川水系で台風19

号級の大雨に見舞われた場合に備え、町民の命を守る防災行動計画（タイムライン）の中で、避難情報にかかわる具体的な基準を定めているか。

総務部長 大和川については、大和郡山市の板東観測所の水位が4.1mに達した時に、「避難準備・高齢者等避難開始」を発令する。水位が4.7mに達した場合は、「避難勧告」を発令する。氾濫の危険性の高い6.2mに達する恐れがある場合には、「避難指示（緊急）」を発令する。また、漏水や亀裂等が発見された場合などは、状況に応じ、避難情報を発令する。

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

富雄川や竜田川について

もそれぞれ定めている。

議員 タイムラインによる避難情報に基づき、住民へ避難行動を促すため、町はどのように取り組んでいるか。

総務部長 テレビのデータ放送などで防災情報を知らせている。視覚や聴覚に障害のある方などには、避難情報等を固定電話やFAXで災害情報を知らせている。自主避難所開設にあわせ、高齢者等のみ世帯や障害者の方など、避難所まで移動が難しい方に対しては、要請に基づき、町職員で対応できる範囲内で自宅から避難所までの送迎を実施している。

議員 高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

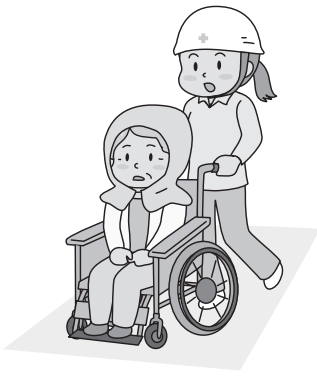
高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

高齢者や障害者など、避難行動要支援者に対して

し、町はどのように取り組んでいるか。

住民生活部長 高齢者や障害者などに、災害発生時に円滑かつ迅速な避難支援を行うため、避難行動要支援者名簿を作成した。この名簿に登録された本人の同意を得た上で、令和元年10月から民生委員や自治会等防災関係者に名簿の提供を始めた。また、名簿への登録については随時更新していく。

今後は、避難を支援する協力者などを名簿に記載して、より安全・円滑に避難行動が行えるよう個別支援計画の策定にむけ、自治会や自主防災組織等と連携しながら取り組んでいく。



小学生・中学生の通学カバンが重いので軽減を！



奥村 容子 議員

議員 町内の小学校・中学校に通うお子さんご家族

から「子どもの通学カバンが重い。何とか軽減できないか。」との相談をいただきました。

早速、通学カバンの重量を量ると、中学生で10キログラム、小学1年生で4.2キログラムありました。夏は水筒も肩に掛けています。クラブ活動をする生徒は、本当に重い荷物を持っています。

通学カバンの重さは、成長期の子どもにとって大変な負担になっています。

通学カバンの重さを確認しておられますか。

教育長 小・中学生の通学カバンが重くなっているこ

とは認識しています。

数人の小・中学生のカバンを計量すると、小学2年生で4〜7キログラム、中学生で8〜10キログラムありました。学習指導要領の改正などで教科書の内容充実のため、B5版からA4版になり、カラー版の多用で教科書が以前より大きく、重くなっていること、参考図書や資料集等の補助教材も増えていることが要因と考えます。

議員 文部科学省も推奨しているように、通学カバンの中身を軽減して、小学生・中学生の身体的負担を軽減することはできないでしょうか。

教育長 現在、町内の各小

学校、中学校でも、学校への携行品を極力少なくできるように取り組んでいるところですが。

各学校の工夫した取り組みを、教職員の共通した認識のもと、子どもたちに指導していくことが大切です。

現状把握も含め、より実効性の高い取り組みを行うよう、各学校に周知徹底してまいります。

議員 教育委員会や学校で、さまざまな工夫をされていますが、依然として通学カバンは重いままだす。

小・中学生の通学カバンの重さの実態調査を行い、少しでも負担の軽減を図るようお願いします。



議会の議案書を閲覧できます

議会に上程された議案書は、役場3階の議会事務局で閲覧することができます。それぞれの議案について、詳しく知りたい場合は、役場3階の議会事務局までお越しください。

議会事務局 (☎74-1001 内線302)

民生委員の活動環境整備を



溝部 真紀子 議員

議員 民生児童委員が向き合う問題は特殊詐欺や児童虐待、大災害への備えと、ますます広がっています。今後、民生委員への活動支援をどのように考えているのか伺います。

住民生活部長 協議会の定期的な会議への出席が困難であることや、担当地域における活動以外のボランティア活動への参加が負担であるという課題を認識しています。今後、民生児童委員協議会と民生委員が活動しやすい環境整備について協議していきます。

議員 民生委員の活動を支えるため、地方交付税の算定額を上回る活動費の支給や、協力員制度を導入して

いる市町村もあります。斑鳩町の考えは。

住民生活部長 協力員を配置することでより細やかな活動が実施できることも想定され、なり手不足の解消にもつながると思われる。活動費につきましても民生児童委員協議会の意見を聞き、他市町村の事例も参考に調査研究します。



子どもたちが健やかに育つ幼稚園づくりを

議員 幼児教育無償化が始まり、保育園への希望者が増加し、魅力ある幼稚園づくりとして、子どもの安全確保、保育士の確保等が、より一層必要であると考えます。現在、特別支援担当の講師が各園3名となっており、子どもの安全確保の観点からみても少ないのではないのでしょうか。

教育長 特別支援担当の配置状況は、各園の子どもたちの状況により異なります。園との協議等を行いながら、職員の配置を決めています。

議員 現場では保育士が全く足りていない。特別支援の講師が休みの日は、担当の先生が一人でクラスを担当しているという声があります。事故が起こってからでは遅く、子どもたちの安全確保、職員の働きやすい環境づくりのため、今より充実した職員の確保を強く要望します。

議会の日程

閉会中の委員会

事情により開催しない場合もありますので、議会事務局にお問い合わせください。

2月 18日(火) 建設水道常任委員会

19日(水) 厚生常任委員会

20日(木) 総務常任委員会

25日(火) 議会運営委員会

3月議会の予定

3月 2日(月) 本会議初日

(委員長報告、提案説明、議案上程)

広報発行常任委員会

5日(木) 一般質問【本会議初日に町ホームページに一般質問の要旨を掲載します】

6日(金) 一般質問

9日(月) 予算審査特別委員会

10日(火) 予算審査特別委員会

11日(水) 予算審査特別委員会

13日(金) 建設水道常任委員会

16日(月) 厚生常任委員会

17日(火) 総務常任委員会

19日(木) 議会運営委員会

25日(水) 本会議最終日(委員長報告、討論、表決)

議場は、役場3階です。すべて傍聴できます。

開会時間は、3月16日(月)、19日(木)は午後1時30分、その他の日程は午前9時を予定しています。

(広報発行常任委員会は本会議終了後)

日程・時間は、一部変更になる場合があります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 ☎74・1001 内線302

財政について



横田 敏文 議員

今後悪化していくことが想定され、増加傾向にある経常的経費の削減が課題。全体的な視点で、各事務事業の必要性や費用対効果を勘案し、財源に見合った財政規模に抑制していく必要があると考えている。

補助金を活用する視点で

議員 持続可能な開発目標SDGsの取り組みはどのように考えるか。今後、環境問題への関心が高まり、補助額・補助率が高まることが予想される。

総務部長 SDGsが示す多様な目標の追求は、地方自治体における諸課題の解決に貢献するもの。地方創生の実現に向けた本町が発展するツールとして議論してまいりたい。

議員 カーボンマネジメント強化事業への取り組みについて問う。

住民生活部長 地方公共団体実行計画を更新する際には削減目標を達成するため、さまざまな国の施策の

活用を検討してまいりたい。

議員 健康づくりに対する補助金活用について問う。

住民生活部長 交付金を活用し、健康寿命の延伸を図ってまいりたい。

歳入増の視点で

議員 ふるさと納税の受入額・住民税控除額の収支、今後の取り組みを問う。

総務部長 現状は赤字、財源確保に向けて取り組み。

議員 観光客誘導事業の更なる取り組みについて問う。
総務部長 「拠点通過型観光」から「散策・回遊・着地型観光」に移行できるように受入環境の整備・充実が必ず必要と考えている。

ESGとSDGsとは・・・

持続可能な開発目標のことで17分野の目標で示すターゲットがある。日本は、ジェンダー平等や貧困対策、クリーンエネルギーなどの分野で課題があると指摘されている。

小中学校でのICT教育の充実を！



大森 恒太郎 議員

議員 ICT教育について日本は世界に比べ遅れており、国の整備計画では「すべての教室にWiFi環境を整える」とされるなど、国もICT教育が必要だと示しています。町立学校でのICT教育の環境整備はどの程度進んでいますか。

教育長 昨年度に中学校で、今年度に小学校で、タブレット型パソコンを各35台・電子黒板を各1台パソコン教室に整備しました。

WiFi環境は、小・中学校とも、すべての教室で使用できるようになっています。

また、教材提示用タブレットと電子黒板等を中学校では学年に各2台、小学

校では学年に各1台整備しています。さらに小学校では、教室のテレビと接続し、デジタル教材等を活用できるようにしています。

議員 子ども達が大人になつて世界に通用する人間になつていく上で、ICT教育は必要だと思えます。教員のICT教育への対応力の向上をどのようにはかっていきますか。

教育長 月2回、民間業者のICT支援員が各小・中学校を訪問し、教員のICTを活用した授業支援等に取り組んでいます。

また、来年度から小学校プログラミング教育が始まります。プログラミング教育が円滑に導入できるよう

町教委や教員による連絡会を立ち上げ、県立教育研究所と連携しながら、教員のICT教育対応力の向上につとめてまいります。

議員 子どもの学びへの興味、関心を引き、学習内容の理解を深めるとともに誰一人取り残すことのない個別最適化された学びを実現するため、そして教員の負担軽減にも繋がりますので、ICT教育化を進めてください。

また、保護者に対してICT教育がどのような教育なのか、PTA総会等で説明をしてください。

プログラミング教育とは……

児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身につけるための学習活動。小学校で令和2年度から必修化される。

被災者の人権保障と避難所でのプライバシーの確保を



木澤 正男 議員

まらず体調不良になったり、最悪の場合には死に至ってしまうケースもあります。また、性被害などが発生する可能性もあるため、そうしたリスクを前提とした避難所の運営が必要だと言われています。

このようなさまざまな課題に対応するため、国際赤十字では「スフィア基準」と呼ばれる災害や紛争の際の避難所の最低基準を提唱しており、こうした基準を参考にしながら、対策を進めていくべきではないでしょうか。

総務部長 大規模な災害が発生すると、避難所は住まいを失った被災者のよりどころとなり、また、在宅で不自由な暮らしを送る被災者の支援拠点となります。このため、避難所を開設するだけにとどまらず、その質の向上に取り組むことは避難者の健康を守り、その後の生活再建への活力を支えることにつながるものと認識しています。

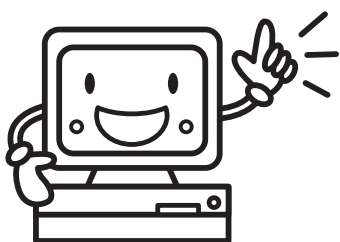
議員 近年、多発、大規模化する自然災害に対し、避難所の運営が注目を集めています。よくある光景として公民館のロビーなどで大勢の人が集まって雑魚寝している状況がありますが、「日本の避難所の環境は国際基準に照らすと、かなり劣悪だ」と指摘されています。狭い空間に大勢の人がひしめき合っていると心も体も休



▲法隆寺避難訓練で使用された簡易間仕切り

斑鳩町地域防災計画では、避難所生活に必要な整備として衛生面の整備やプライバシーの確保に配慮したパーティション等の整備に努めること、そして、生活環境への配慮として高齢者や障害者、女性、子どもなど多様な視点への配慮、相談窓口など個人のプライバシーの確保や衛生面の管理について定めています。被災者の尊厳を守る国際基準であるスフィアは、今後の我が国の避難所の質の向上を考えるとき、参考にするべき国際基準であると位置づけられています。これを参考に、今後においても避難所の質の向上に取り組んでまいります。

議会だよりと会議録(本会議、委員会)が斑鳩町ホームページで閲覧できます。



斑鳩町ホームページ (<http://www.town.ikaruga.nara.jp/>)で、斑鳩町議会をクリックしてください。No.52(平成19年5月1日発行)以降の議会だよりと平成23年5月以降の会議録が閲覧できます。

聖徳太子御遠忌を

意義あるものに



伴 吉晴 議員

議員 再来年には、聖徳太子が亡くなられて千四百年にあたり、斑鳩町はこれから多くの方々に注目される時期を迎えるが、どのようにこの機会を生かすのか、町の方向性を伺う。

総務部長 1920年（大正10年）の聖徳太子御遠忌では、法隆寺で「聖徳太子千三百年御忌法要」が営まれ、斑鳩の地に全国から大勢の人が押し寄せるなど、全国各地の聖徳太子ゆかりの地で法要や稚児行列などが行われたそうです。

本町としても、東京オリンピック・パラリンピックを一年後に控え、2023年の法隆寺・世界文化遺産登録30周年、また2025

年には大阪万博を控えるなか、2021年の聖徳太子千四百年御遠忌を「世界文化遺産法隆寺のあるまち」「聖徳太子ゆかりの地・斑鳩町」を積極的にアピールする絶好の機会として、町全体に機運の醸成をはかりたいと考えています。

議員 決して経費を使うだけで終わることなく、意義のあるものにするための具体的な施策を伺う。

総務部長 将来を担う子ども達に聖徳太子について学習するだけでなく偲び思い続けてもらう環境づくりや、国内外からの交流人口の拡大や旅行消費によって地域の活力を維持発展させるため観光の仕組みづくり

を進めます。

議員 御遠忌の事業について観光的な面と町民向けに聖徳太子を偲ぶ面を進めるとのことだが、どちらに重きをおいていくのか。

副町長 町民の方、国内外の方、すべてに千四百年御遠忌を知っていただきたい思いです。どちらも重点をおいて職員が一丸となって取り組みたいと考えています。

議員 見ていただくもの、また、発信するものが違うので、今後どう進めるのか注視します。

どちらかに重点を置くという選択をしないと効率性が出ない。町民向けと観光向け、両方をやっているとすることは非常に難しい方向だと考えます。



子どもの医療費 窓口での一時負担 について



小 城 世 督 議員

未就学児までが一時負担をしなくていいという形になりました。これを中学生まで、すべて窓口負担の支払いをなくすることはできないでしょうか。

住民生活部長 本年8月診療分から未就学児までに限られていますが、窓口での負担の必要がない措置、いわゆる現物化が講じられています。

現物化を中学卒業まで拡充するには、国の国保の公費を減額調整する措置の全廃が前提となります。また、子ども医療費助成を含む福祉医療費の助成方法については、奈良県下全市町村の統一的な実施が必要となり、斑鳩町が単独で実施することは難しいと考えます。

議員 子ども医療費の窓口一時負担についてです。斑鳩町では、子どもに対する手厚いサービスがたくさんあります。その中でも2010年に中学生までの医療費が無料になり、町独自で進めているところで、ほかの町との差別化でしたり転居されてくる若い方もふえています。

その中で、窓口負担は、今、

今回、未就学児に対する国保の公費を減額調整する措置の廃止も全国知事会・全国市長会・全国町村会からの働きかけもあり実現したと考えており、引き続き、国に対して年齢制限なしの国保の公費を減額調整する措置の廃止を働きかけてい



くものと考えます。

町としても、国の動向に注視しながら、県に対して町村会を通じて引き続き、要望していきたいと考えています。

議員 県に対し町村会を通じてという要望をしっかりと、一日でも早い窓口一時負担金支払いをなくすよう進めていけば職員の業務の負担も減り、ほかの行政サービスに生かせると思います。

一日も早い取り組みをお願いします

加齢性等の難聴者の補聴器購入助成について



濱 眞理子 議員

議員 今年3月の定例議会での同様の一般質問では、「更に調査をし、担当とも協議したい。方向性を示させていただきたい」との町長回答がありました。また、助成制度をすでに導入していた「浦安市」や「船橋市」を例に斑鳩町での補助に必要な経費の試算をし、浦安市規定（所得制限無し・上限3万5千円）なら100万円、

船橋市規定（所得税非課税・上限2万円）なら10万円との回答でした。当町の財政規模ならば、補助の創設は可能です。障害認定の規定聴力に達しない軽度・中等度の難聴は早期発見・補聴器の早期装着が悪化予防になります。聞こえにくいことが高齢者の社会参加を抑制し、それが身体機能の低下と認知症の誘因となります。また、災害時の情報が届きにくいなど避難時の危険が増大します。

町のその後の検討・方向性をお聞きします。

住民生活部長 調査の結果、周辺の自治体での助成実施はないことから、現行の方針を継続し、生活に支障を来すほどの耳の聞こえにくさになった場合は、聴覚の身体障害者手帳の取得をし、その助成制度を利用するよう案内しています。

議員 障害認定の規定聴力に達しない難聴者への助成こそ福祉の充実です。

聴力障害以外の身体障害者（視覚障害者や車いす使用者等）で軽度の難聴者は雑踏の中では聞こえにくく、駅ホームからの転落事故多発を心配し、車いすの高さでは、路面からの反響で聞き取りにくいなどがあります。難聴は軽度であっても、生活には大きな支障があります。このような方への購入助成は必要ではありませんか。

住民生活部長 聴覚障害の認定をうけた上で、障害者制度による補助を利用していただきたいと考えています。

議員 助成の対象基準や条件・金額などは要検討ですが、制度創設は町の福祉への姿勢を示すことです。「近隣で実施している町」になろうではありませんか。



議会は役場3階です

議会を傍聴してみませんか？

斑鳩町議会では、「開かれた議会」をめざしています。みなさんの選んだ議員が、議場や委員会でのどのような発言をし、行政はどう答えているのか、みなさんご自身でお確かめください。

また、事前に通告された一般質問の要旨は、斑鳩町ホームページ (<http://www.town.ikaruga.nara.jp/>) に掲載しています。斑鳩町HPで斑鳩町議会をクリックしてご覧ください。

議会事務局 ☎0745-74-1001 (内線302)

建

設水道常任委員会

令和元年12月9日、全委員出席のもと委員会を開催し、継続審査案件等の審査を行いましたので、その主な内容と結果について報告します。

本会議より付託を受けた3議案については、すべて原案どおり可決すべきものと決しました。

委員会付託議案

◎斑鳩町水道事業給水条例の一部を改正する条例について

本条例は、水道法の一部を改正する法律の施行に伴い、指定給水装置工事事業者の更新指定手数料が新設されます。指定給水装置工事事業者の資質の維持と向上を図るため、給水装置工事事業者の指定の有効期間を新たに5年と定めた更新制を導入すると説明がありました。

◎令和元年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第2号)について

人事院勧告に伴う給与改定及び人事異動に伴う人件費の補正であると説明がありました。

◎令和元年度斑鳩町下水道事業会計補正予算(第2号)について

国庫補助金の確定に伴う減額補正と、人件費についての人事院勧告に伴う給与改定及び人事異動等に伴う補正であると説明がありました。

継続審査

◎都市基盤整備事業に関することについて

現在、いかるがパークウェイ三室交差点付近の整備は、暫定形の状況で、早期完成に向け、次年度にかけ、継続して工事が行われると報告がありました。

今後、いかるがパークウェイの事業効果を、さらに高めていくために、小吉田モデル区間の東端から東側への延伸が重要となるため、町としても、早期整備に向け、関係各所へ積極的な働きかけ



▲いかるがパークウェイ(三室交差点から岩瀬橋を望む)

けを行うとともに、引き続き、国とも連携、調整を図っていきたいと説明がありました。

委員より、誘導員の配置状況、表示看板の設置、三室交差点部分の整備完了見込み等、質疑があり、それぞれ理事者より答弁されております。

各課報告事項

◎督促手数料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について

督促手数料に郵送料相当額等を適正に反映させるた

めの改正です。

◎令和元年度斑鳩町一般会計補正予算(第6号)について

当委員会の所管に関する、農業費、土木管理費、都市計画費等で、人事院勧告に伴う給与改定及び人事異動等による人件費の補正を行うと報告がありました。

◎斑鳩町農業委員会委員・農地利用最適化推進委員の募集について

現在の委員の任期が、令和2年7月19日で満了となるため、次期の農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の募集を行い、1月号の町広報紙へ募集記事の挟み込みを行うとともに、町ホームページにも募集記事を掲載すると報告されました。

委員より、応募資格条件、評価項目の公表等、質疑があり、それぞれ理事者より答弁されております。

(井上委員長記)

厚生常任委員会

令和元年12月10日全委員出席のもと、委員会を開催しましたのでその主な内容についてご報告します。本会議から付託を受けた6議案については、すべて満場一致で可決すべきものと決しました。

委員会付託議案

○西和地域病児保育室設置条例について

平群町・三郷町・斑鳩町・上牧町・王寺町の5町において締結した連携協約に基づく条例制定です。西和医療センター敷地内に設置し、名称は「西和地域病児保育室」。利用料一人一日2千円（減免制度あり）事前予約が必要です。

○斑鳩町保育の実施に関する条例の一部を改正する条例について

「子育て応援宣言のまち」として、保育園保育料を国基準の80%に設定し、子育て世代の負担軽減をはかるものです。

○令和元年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について

人事院勧告による人件費所要額の減額、外国人被保険者関連システム改修費の増額です。

○令和元年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について

人事院勧告等による人件費の補正。保険料の口座振替方式の変更及び社会保障・税番号制度対応のためのシステム改修費の増額です。

○令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について

保険料口座振替依頼方法の変更に伴うシステム改修費の補正です。

○斑鳩町印鑑条例の一部を改正する条例について

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化を図るための関係法律の施行に伴い、印鑑登録を受けることが出来ない者と規定されている「成年被後見人」を「意思能力を有しない者」に改めるものです。

継続審査

○環境保全及びごみ減量化・資源化の推進に関することについて

奈良市・生駒市・大和郡山市・平群町・斑鳩町で取り組んでいる、ごみ処理広域化勉強会について、令和元年12月25日に奈良市西南部で候補地を検討されていることを3副市長・2副町長に説明し、情報・課題の共有をはかる予定とのことです。

各課報告事項

○督促手数料の見直しに伴う関係条例について

本委員会所管は「斑鳩町後期高齢者医療」に関するもので、現行50円を100円に改正するものです。

○令和元年度斑鳩町一般会計補正予算（第6号）について

住民生活部所管の戸籍住民基本台帳費、民生費、衛

生費の補正予算が示されました。

○プレミアム付商品券発行事業について

○ファミリー・サポート・センター事業について

現在「子育てサポートクラブゆりかご」実施の託児サービスを、令和2年4月より町のファミリー・サポート・センター事業に移行するものです。

○国民健康保険税の適正な税率について

奈良県から令和2年度の国民健康保険事業費納付金の仮算定額が示されたことから、国民健康保険運営協議会での協議が行われ、本算定額が示された後、答申の予定です。

その他

委員から、いきいきプラザの建物内で発生した事案についての質問がなされました。

（濱委員長記）

総務常任委員会

令和元年12月11日 全委員出席のもと総務常任委員会を開催しましたので、その概要をご報告します。
本会議より付託を受けました5議案はすべて満場一致で可決すべきものと決しました。

委員会付託議案

◎督促手数料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について
督促手数料に郵送料相当額等を適正に反映させるための改正です。
◎特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
令和元年度の人事院勧告に基づく法改正が行われたため、その内容に準じて町長、副町長の期末手当の改正を行うものです。

◎教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について
町長、副町長と同様の趣旨で、教育長の期末手当の改正を行うものです。
◎斑鳩町の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
令和元年度の人事院勧告に基づく法改正が行われたため、その内容に準じて一般職の職員の給与改定を行うものです。
◎令和元年度斑鳩町一般会計補正予算(第6号)について

事業系可燃ごみ増加に伴う処理費や幼児教育・保育の無償化における利用見込みの増加により発生する費用、また西公民館西側ブロック塀の改修工事費や町有地の売り払いによる収入、西学童保育室新設工事費の増額など、年度途中で発生する費用等について合計7206万円を追加し、予算補正を行うものです。



▲改修予定の西公民館のブロック塀

継続審査案件

◎斑鳩町における歴史的史跡等の発掘調査、整備保存に関することについて
秋季特別展「中宮寺跡を掘る ―聖徳太子ゆかりの

尼寺の全貌―」は開催期間中1874名の入館者がありました。昨年比では532人の減少でした。

各課報告事項

◎斑鳩町コミュニティバス
の王寺駅乗入れ案について
◎少人数学級編成方針の考え方について
町費講師を配置して行う町の少人数学級編成について、学校長は、学校の事情に応じて少人数指導やティーム・ティーチングにより授業を行ったほうが、効果が得られると判断した場合は、少人数学級編成を行わずに、その町費講師を活用して、少人数指導等により学年運用することができるとの考え方が、町教育委員会より示されました。

◎斑鳩町協働のまちづくり活動提案事業の選考結果について
令和2年度の活動提案事

業については、2団体から応募があり、2事業を採択したとのことでした。

◎消防関係の年末年始の行事予定について

◎業務システムの障害について
以上、5件の報告を受けました。

その他

◎町立幼稚園の状況について
◎災害時における段ボール製品の調達に関する協定書について



▲法隆寺避難訓練で展示された段ボールベッド

(木澤委員長記)

本会議での 討論

議案に対して賛否が分かれた場合、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べる「討論」を行います。

12月定例会で1件の討論が行われました。

斑鳩町議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する 条例の一部を改正する条例について（賛成多数で可決）

【反対意見】 溝部 議員

町職員の給与は過去より人事院勧告を基本に改定が行われています。

一方、議員に係る期末手当につきましては、条例規定が「町職員の例により」支給されることとなっていることから、全国の多くの自治体で、慣例的にこの「人勤」にあわせて改定が行われているのが実態であります。奈良県議会議員の期末手当支給月数の改定も同様に繰り返されてきましたが、この度条例改正され、平成30年度の基準に据え置くこととしました。

令和元年10月1日からは消費税の改正が行われ、住民の実質的な所得の低下が見込まれる時に町議会が「人勤」に従って期末手当の増額を行うべきではないと考えます。われわれ議員の期末手当を引き上げることを今一度考え直し、この財源を将来の斑鳩町のために役立てていただきたいと思ひます。よってこの発議に反対いたします。

【賛成意見】 木澤 議員

今回の改定では、人事院勧告にならない議員の期末手当が0.05カ月分19,800円の引き上げとなります。

町会議員は市議や県議と違い年間800～1,000万円というような高額な報酬ではありません。斑鳩町議会議員の報酬は月額28万4,000円。年収にすると473万9,960円です。住民感情からもかけ離れた額ではないと思ひます。町議は兼職が禁止されていませんが、議員活動に専念しようとするれば兼職せずとも生活できるだけの報酬が必要だと考えます。その点でいえば、現在の議員報酬では、非常に厳しいものがあります。議員の報酬は報酬審議会で審議いただくものであり、その自治体ごとによって財政事情等も変わるので、それぞれの自治体の実情に即した判断が必要であると考えます。私は今回の改定は必要なものだと考えますので、本議案については賛成します。

厚生常任委員会現地調査 及び新任議員研修

令和元年10月10日、三重県伊賀市へ当町が排出している可燃ごみの処理、枝葉・草類、生ごみの堆肥化、その他プラスチックのリサイクルについて、関係施設の稼動状況などの現地調査を実施しました。



▲処理場内の水処理施設
【(株)ヤマゼン
上野エコセンター】



▲食品廃棄物を利用した
堆肥化リサイクル
【(株)大栄工業 三谷工場】



▲センター内にある最終処分場
【三重中央開発(株)
三重リサイクルセンター】

建設水道常任委員会

令和元年10月24日、治水事業の推進について、大阪府東大阪市へ先進地視察を行いました。



▲遊水地事業の花園中央公園

総務常任委員会

令和元年11月5日・6日の両日、先進地である東広島市・安芸国分寺歴史公園、米子市・国指定史跡の上淀廃寺跡にて、史跡公園等の管理・活用について視察・研修を行いました。



▲上淀廃寺跡(米子市)

住民懇談会を開催しました

議会活動の充実を図り、町民の皆様との相互関係を図るために、町内の各種団体等との懇談会を開催しています。

令和元年9月30日に、斑鳩町シルバー人材センターと懇談会を開催しました。

当日は、「シルバー人材センターの現状と今後について」をテーマに、会員の皆さまから種々意見が出されました。詳しくは町ホームページに報告書を掲載しておりますのでご覧ください。



議会議員と懇談しませんか？

斑鳩町議会では、斑鳩町内の各種団体との懇談会を実施しています。

開催日程、場所、懇談のテーマなど、ご相談に応じさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。

申し込み先：議会事務局 ☎0745-74-1001 (内線302)



▲シェイクアウト訓練の様子

法隆寺で避難誘導訓練

12月17日、町と「災害時における避難所等施設利用に関する協定」を締結している法隆寺で、地震が起きたときに身の安全を守る行動をとるシェイクアウト訓練や、観光客の避難誘導訓練などが行われました。



◀ 避難誘導訓練の様子

広報発行常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 濱 眞理子 |
| 副委員長 | 溝部真紀子 |
| 委員 | 伴 吉晴 |
| 〃 | 大森恒太郎 |
| 〃 | 横田 敏文 |
| 〃 | 奥村 容子 |

て、世の中は、ハロウィン・新天皇の神事・クリスマス・神社初詣・バレンタインと続いています。さまざまな文化を吸収し生活に取り入れる気質は太子の導きなのでしょうか。
(濱委員長記)

編集後記

聖徳太子の千四百年御遠忌が近づいてきました。太子の教えや文化など、日本のさまざまな発展は、はるか西方より渡来しました。
文字も言語も遣伝子も同様です。
秋から春にかけて